

寺報

龍正寺

日なた 120号

念

今の心を

大切に

日延



<平成30年 5月>

宝龍会
護持会

大祈禱会を開催しました

御上人の祈禱が本堂に響きます。



今回のお題は『感謝』。良い学びになりました。



年に1度の檀信徒総会です。



福俵・絵馬・熊手の祈願です



願いを込めて…南無妙法蓮華經

— 徑 職 — 言 = 念・今心を大切に

寺報日なた / 19号で感謝の心を述べさせてもらいました。

毎日のお勤め、お經に行かさせてもらうと、必ず妙法蓮華經如來壽量品第十六自我偈を詠誦いたします。

最後の一節に「毎に自から是の念を作す」と仏様が説かれておられます。この言葉の中には、お釈迦様はどの様な人にもその人の能力に応じて救の手を差しのべられます。

常に平等な大慈悲の心で私達を見守り続けて下さっています。

法華經の授業中に「自我偈の心」「素直に・真面目に・真剣に」何度も出てくる言葉でした。

誰もが日々の生活の中で「素直に・真面目に・真剣に」お過ごしのことと想います。私自身も言葉の如くに日々精進しております。

さて「自から是の念を作す念」とは今の心と書きます。

自身が今の心に思った事、感じた事を、素直に実行に移し、真面目に考え、真剣に取り組む事で自身の心が何事にも前向きになります。

そして過去の出来事を振り替えて、今をどう生きるかを考え、改める事、きっと未来の明るい偉業、楽しい人生を送る事が出来るでしょう。

合掌

皆々様の御偉業でありますこと、お祈り申し上げます。

南無妙法蓮華経

『父の命日』

4月1日 エイプリルフールは父の命日となりまふ。
先週の日曜日(4/1)に 佐口上人様に私の自宅に
来り頂き 仏前にマ お経と唱題を読み上げ
頂きました。この場をお借りし改めて感謝申し上げます
と思ひまふ。

私 この原稿が寺報“ひばり”に載せ頂く頃には五月と
なつてゐると思ひまふが... 父との思い出を少し綴つておたし
と思ひまふ。

今から14年前の3月22日、23日と仕事が連休が取れた事あり
私は故郷の尾道市に何故か? 帰省した。
年に1度のペースで帰省して来た私は3ヶ月前の正月に帰省し
たので、本来なら帰る予定ではなく...。
ただふと「母さんの墓参りに帰ろう」と思つた位でした。
実家に着くと父も私の帰省に驚き「どうしたんだ?」と
言つてくれた程でした。

その時に父が「今晚いっしょに寝まくはたか?」と言ひ。
続け「その物入れの中から“うん~うん~”と男のうめき声
聞えるから、お前も聞いてくれ」
と父が言つてきた...

それと私と父と弟の3人で居酒屋に食事に行きました。
この食事が親子で食べる最後の食事となりました...
弟は彼女と会う為に食後に出かけ、私は父を連れ
近くの銭湯に行きました。

そこで私は生まれて初めて父の背中を洗ったこと
の事を自然の行為の中でして来た...

あの光景は14年経った今でも不思議と鮮明に
思い出せる。

その翌朝、父から聞かされた。「うめき声」は聞こえに
母の墓参りを済ませた私は名古屋に戻ってきた。

その一週間後の4月1日に弟から訃報が届いた。

私は信じられませんでした... ただ茫然として

この春彼岸に私が突然に帰省した事も...

父が言っていた夜中のうめき声も... 弟と二人で酒を呑んで
居酒屋での事も... 父と二人で銭湯に行き背中を洗った事、
全てが私の中で繋がりました...

葬儀が終え、父の遺骨の前で、「あの時言っていたうめき声は
本当に聞こえたんだね」と話しかけたら、あの不思議
な空間を思い出して来ました。

私の中で「もしかしたら... 母さんが僕を呼んだのかも知れない」
という気が今でもして来ます...

最近では父の声を記憶の中で薄らぎかけてきました...

あんなに14年... 私も会話が出来ないのであれば

「元気ですか?」と問うておたくなりすが...

向こうも向こうで「元気をやっていますか?」と聞いて

来たりする気がして来ます。

— 二元対極の法則 —

メジャーリーグで活躍中の大谷翔平選手。プロ野球入団時、ピッチャーとバッターの二刀流に挑戦し、ファンを驚かせました。「二刀流なんて無理だろう…」という風評もはね飛ばしていました。その時、彼の思いは「結果がすべてではない。僕にとってはチャレンジすることが大切で、その過程が大事なんだ」ということを知り、若いのにしっかりした考えを持っている子だと感心しました。そして「もし失敗したとしても、その失敗は次に二刀流をやりたい!!という子のお手本になって、成功につなげてくれればいい」と続けていました。

私達は自分の望みや願いが叶わないと自分を不幸と思ひ、他人と比べる生き物です。どうして、そういう気持ちになってしまうのか...? お上人様にお借りして、『香風』という本には、このように書かれています。

二元対極の法則を受け容れようとしてよい自分の物の見方、考え方、人生観にある

二元対極... この世に幸福だけが訪れたり、不幸だけが訪れるということはなく、不幸の中にも幸福が

含まれている。光が強ければ闇が濃くなるという
世の中の法則と説明されていました。

以前、お上人様から、日頃、仏様は私達に
色々な気づきをさせるために、たくさんの体験をさせて
下さっている。それに気付いて感謝できると、すべてが
変わる。と教えて頂いたのを思い出しました。

数年前、たまたま子どもが授からず、何度も流産を
くり返していた時期がありました。その時はとにかく
必死でした。今、あの時の体質改善が、健康
な体を作ってくれ、辛い経験が、子どもを愛おしい
と思う心を作ってくれ、妊婦、出産が無事にさせ
てもらえるのは当たり前ではないという感謝の思い
を強くさせてくれたと感じています。勿論、周りの人
の支えがあったからこそだと思っています。

不幸の中にも、幸せが含まれていました。こう考える
と、すべての経験を受け容れ、前向きにならな
いける気がしませんか?! 私も今にならな
い。まだまだ自信はありませんが、少しずつ
精進していきたいと思っています。

～ 幸せをみっけよう ～

先月 龍正寺 で大初禱会 法要が行われました。

今年は親子三家族で参拝する事が出来ました。子供達と法要中の孫達の声や足音にハラハラしながらも、小さな手に念珠をかけて、片言のお題目を唱える姿に笑みが溢れました。ふっと我が子の幼き頃の姿を思い出しました。

今ではその我が子も父と母となり、我が子の成長・家族の幸せを願いお題目を唱えています。

子供・孫達と一緒にこの龍正寺の御祖師様の御前でお題目を唱えさせて頂ける事に胸が熱くなりました。

これこそ本当の「幸せ-喜び」です。

「幸せ」は人によって異なります。ただ…私利私欲の幸せは、決して永く続きません。そしてまた足りないと求める思いばかり強くなり、満足できる幸福感を味わう事は出来ないと思います。

この頃韓国の財閥家族の事が話題になっていますが、地位・名誉・財産も満されているにもかかわらず、人を罵倒・ののり、暴力などで威嚇する態度は何か大切な事が欠落して

いるのではないのでしょうか。

決してそれでは「本当の幸せ」に近づく事は出来ません。

どのように裕福でも、人として淋しい人生を送る事になります。

法華経はたとえどのような状況の中でも、その場限りの幸せではなく「本当の幸せ」とみつける事が出来るお教です。

以前私自身もこの龍正寺で、自らを振り返りながらみつける事が出来ました。それは「我」との戦いでもありました。自問自答を繰り返してきた中で、いつも足元をみつめたのはお教えのおかげでした。

大初禰法要では御神仙への報恩感謝と共にこの一年間の各々の初願をして頂けます。

他力ではなく一年間自分自身をみつめ願いか成就するように精進する事で「本当の幸せ・喜び」を感じられます。

今年も多くの方々の御初願が成就致しますように、そして穏やかな一年でありますようにと心からお祈り致します。

< 5月の行事予定 >

5月5日(土) 13:00~ 子供祈禱会
13日(日) 10:00~ (宗祖日蓮大聖人報恩会
伊豆法難会
18日(金) 10:00~ 鬼子母尊神) 祈禱会
七面大明神
大古久尊天祈願会

< 住職の予定 >

5月16日(水)

岫峰・妙照寺様

5月21日(月)

寺院総会(中津川)

< 5月の予定 >

4月末~5月4日(金) 各々の時間で 清掃・準備

5月5日(土) 法要後 片付け・準備

5月6日(日) 各々の時間で 清掃・準備

?

12日(土)

↓

↓

13日(日) 法要後 片付け・準備

14日(月) 各々の時間で 清掃・準備

?

17日(木)

↓

↓